



第10回

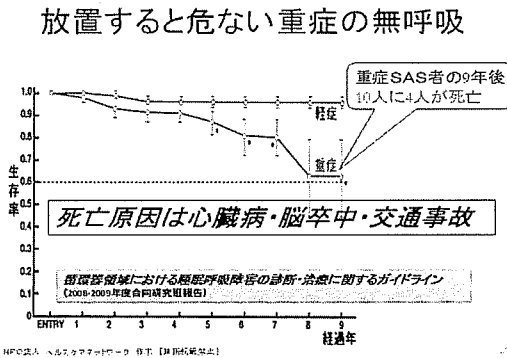
危険ないびきを放置しないで！

有効な交通安全対策とは

前回は道路交通法の関係からSASと運転業務について述べました。今回はSASと健康起因事故について触れてみたいと思います。新聞やテレビで報道される健康起因事故の多くはてんかん、低血糖による意識消失などで、これらの事故は殆どが意識のないままノー

ブレーキで突入し、多くの人を巻き込む大惨事になっています。SASという健康起因事故 SAS対策を挙げています。トラック・バス業界ではSASスクリーニング検査(下記写真)に助成金を交付していますが、SAS以外にも飲酒運転防止対策として、点呼時のアルコールチェックの義務化、ドライブレコーダーによる運転中の映像保存など、先進的な安全対策を推進しています。

放置すると危ない重症の無呼吸



データもあります(上グラフ参照)。つまり、本来オフ状態でなければならぬ睡眠中にも無呼吸による酸欠状態が生じ、血管に負担をかけ続けてきた結果が、脳梗塞や心筋梗塞の引き金となるといふシナリオなのです。心筋梗塞で入院した患者の緊急措置がSAS治療器であるというのも頷けますね。

運輸業の取組み 国交省では健康起因事故防止対策として、2014年4月、9月と続いてマニュアルを発売して事

睡眠時無呼吸症候群 (SAS) の

**バルちゃん検査は自宅で簡単**  
(パルスオキシメータ)

『病院に行く時間がない』  
という方に朗報です!!

◆法人価格:5000円(税込)  
3名以上のお申込みで、会社へのお届けになります。  
◆個人価格:8,640円(税込)

お申し込み・お問い合わせは

OCHIS NPO法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)  
sas@ochis-net.com http://sas.ochis-net.jp

◆大阪オフィス 大阪市城東区堀野西2-11-2 大阪府トラック協会会館1階  
TEL:06-6965-3666 FAX:06-6965-5261

(公社)全日本トラック協会 SAS対策事業受託法人 (公社)日本バス協会 SAS対策事業推奨法人

NPO法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)  
副理事長 作本貞子

《安全と健康を推進する協議会 (両輪会代表)》

居眠り運転と関連性の深い睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 対策事業を日本でいち早く立ち上げ、全日本トラック協会や日本バス協会のSAS検査の指定機関として突出した実績を持つ。新聞各誌、テレビでも多く紹介され、安全・健康をテーマに全国的に講演活動を行う